



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月7日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)金箱 聡 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日~平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	10,664	8.8	1,225	52.9	1,225	46.3	693	55.1
25年12月期第1四半期	9,797	△0.3	801	6.9	837	10.6	446	30.7

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 609百万円(△8.5%) 25年12月期第1四半期 665百万円(21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	35.61	—
25年12月期第1四半期	22.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	46,274	32,853	62.0
25年12月期	45,559	32,364	61.9

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 28,699百万円 25年12月期 28,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日~平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,700	4.8	1,040	11.0	1,070	6.8	530	5.8	27.23
通期	40,200	4.0	2,050	8.2	2,120	4.4	1,030	4.8	52.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年12月期1Q	20,763,600株	25年12月期	20,763,600株
26年12月期1Q	1,301,487株	25年12月期	1,301,384株
26年12月期1Q	19,462,118株	25年12月期1Q	19,462,850株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果により、企業収益の改善や個人消費の増加がみられるなど、緩やかに回復しましたが、新興国の成長鈍化などの景気下振れリスクや消費増税に伴う駆け込み需要の反動が見込まれるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン減税の拡充等もあり、堅調に推移しました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、昨年発売した製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、製品の付加価値を高める開発を進めるとともに、ユーザー別の提案営業力を強化し、受注拡大に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、当社グループの強みである特殊対応力を生かした顧客ニーズに基づく製品開発と営業活動により、顧客獲得に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,664百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は1,225百万円（前年同期比52.9%増）、経常利益は1,225百万円（前年同期比46.3%増）、四半期純利益は693百万円（前年同期比55.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

昨年発売した高い遮蔽性が好評の高機能製品プリーツスクリーン「ゼファー」「フィユ」で展開している意匠性の高いデザイン生地「和歌」「和美」や省エネ生地をプリーツスクリーン「ベルレ」においても新たに展開し、生地ラインナップを拡充しました。また、住宅の窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめた販促物「ホームセレクションブック」を作成し、窓まわりのトータルコーディネートを提案するなど、顧客満足度の向上と市場の拡大に取り組んでまいりました。

さらに、海外においては、昨年につき、中国（上海）で開催されたアジア最大級のシャッター・ブラインド・門扉の展示会である「R+T Asia 2014」に出展し、日本製品のブランド認知度の向上に努めてまいりました。

以上により、売上高は9,329百万円（前年同期比8.6%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、1,116百万円（前年同期比51.6%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

ユーザー別の提案型営業を強化し、メンテナンス部門は順調に推移しましたが、大型物件の新設着工減少により、売上高は486百万円（前年同期比5.8%減）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減に努めましたが、売上高減少および材料費・外注費高騰により、7百万円の損失（前年同期は41百万円の利益）となりました。

[減速機関連事業]

製造業の設備投資が回復基調にある中、顧客ニーズの把握に努め、積極的な営業活動を展開したことにより、売上高は848百万円（前年同期比23.1%増）となりました。営業利益につきましては、売上高増加に加え、継続的な原価低減活動により、115百万円（前年同期比390.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は46,274百万円で、前連結会計年度末と比較し715百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は28,851百万円で、前連結会計年度末と比較し939百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,423百万円で、前連結会計年度末と比較し224百万円の減少となりました。これは主に、減価償却等による有形固定資産の減少および保有株式の時価の下落等による投資有価証券の減少によるものであります。

(負債)

負債は13,421百万円で、前連結会計年度末と比較し225百万円の増加となりました。これは主に、未払金が減少した一方で、支払手形及び買掛金、賞与引当金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は32,853百万円で、前連結会計年度末と比較し489百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が減少した一方で、利益剰余金が四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は62.0%と、前連結会計年度末と比較し、0.1ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、景気の回復基調が続くことが期待されますが、海外景気の下振れや消費増税に伴う駆け込み需要の反動など、景気を下押しするリスクが存在し、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、引き続きお客様の多様なニーズに応えるため、積極的な製品開発を図るとともに、5月から開催する新製品発表会等を通して市場浸透を促進し、さらなる売上向上及び収益確保に努めてまいります。

これらを踏まえ、平成26年12月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成26年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,025,802	8,645,779
受取手形及び売掛金	12,842,850	13,720,373
商品及び製品	635,290	614,680
仕掛品	1,190,867	1,246,239
未成工事支出金	67,082	44,015
原材料及び貯蔵品	2,956,690	3,290,649
その他	1,203,405	1,300,793
貸倒引当金	△10,139	△10,815
流動資産合計	27,911,849	28,851,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,652,581	12,649,132
減価償却累計額	△7,978,675	△8,045,622
建物及び構築物(純額)	4,673,905	4,603,510
土地	7,273,085	7,273,085
その他	14,376,116	14,439,531
減価償却累計額	△12,953,756	△13,047,816
その他(純額)	1,422,360	1,391,714
有形固定資産合計	13,369,352	13,268,310
無形固定資産	523,688	511,914
投資その他の資産		
投資有価証券	1,953,425	1,801,833
その他	1,860,157	1,900,661
貸倒引当金	△58,648	△59,590
投資その他の資産合計	3,754,934	3,642,904
固定資産合計	17,647,975	17,423,129
資産合計	45,559,825	46,274,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,824,183	7,183,484
未払法人税等	498,862	570,002
賞与引当金	186,358	545,024
役員賞与引当金	53,940	13,261
製品保証引当金	22,493	35,839
その他	2,171,801	1,691,346
流動負債合計	9,757,639	10,038,959
固定負債		
退職給付引当金	2,916,535	2,873,890
役員退職慰労引当金	305,835	315,064
その他	215,583	193,248
固定負債合計	3,437,954	3,382,203
負債合計	13,195,594	13,421,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	19,639,199	20,234,903
自己株式	△666,599	△666,652
株主資本合計	27,842,600	28,438,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318,649	224,218
繰延ヘッジ損益	4,481	908
為替換算調整勘定	51,019	36,517
その他の包括利益累計額合計	374,150	261,644
少数株主持分	4,147,479	4,153,786
純資産合計	32,364,231	32,853,681
負債純資産合計	45,559,825	46,274,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	9,797,748	10,664,495
売上原価	5,688,892	5,975,244
売上総利益	4,108,855	4,689,251
販売費及び一般管理費	3,307,405	3,464,112
営業利益	801,450	1,225,139
営業外収益		
受取利息	1,863	981
受取配当金	1,072	1,222
不動産賃貸料	9,154	9,339
為替差益	23,552	-
その他	26,946	23,402
営業外収益合計	62,589	34,945
営業外費用		
支払利息	5	7
手形売却損	7,074	5,101
売上割引	16,977	19,764
為替差損	-	6,125
その他	2,473	3,775
営業外費用合計	26,531	34,775
経常利益	837,509	1,225,309
特別損失		
固定資産除却損	776	316
特別損失合計	776	316
税金等調整前四半期純利益	836,732	1,224,992
法人税、住民税及び事業税	427,676	592,029
法人税等調整額	△58,541	△92,275
法人税等合計	369,134	499,754
少数株主損益調整前四半期純利益	467,597	725,238
少数株主利益	20,871	32,223
四半期純利益	446,726	693,014

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	467,597	725,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	178,068	△97,770
繰延ヘッジ損益	△2,307	△3,572
為替換算調整勘定	22,459	△14,502
その他の包括利益合計	198,219	△115,845
四半期包括利益	665,817	609,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,598	580,508
少数株主に係る四半期包括利益	43,218	28,884

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,592,488	516,420	688,838	9,797,748	—	9,797,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	12,015	12,015	△12,015	—
計	8,592,488	516,420	700,854	9,809,763	△12,015	9,797,748
セグメント利益	736,447	41,439	23,562	801,450	—	801,450

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,329,830	486,595	848,069	10,664,495	—	10,664,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	18,722	18,722	△18,722	—
計	9,329,830	486,595	866,791	10,683,217	△18,722	10,664,495
セグメント利益又は損失(△)	1,116,720	△7,188	115,607	1,225,139	—	1,225,139

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。